

横浜市議員

月刊・伊藤ひろたかの 1分でわかる市政レポート



伊藤ひろたか事務所 〒226-0003 緑区鴨居3-3-2 川端ビル1F ホームページ: <http://hiro-chan.net>
TEL & FAX 935-7850 e-mail: voice@hiro-chan.net(PC) hero1001@ezweb.ne.jp(携帯)

混乱する横浜市政とこれから

あまりに唐突な市長辞任

中 田前市長が突然の辞職を発表したのが7月28日。まさに市政の投げ出しであり、無責任と言わざるを得ません。その余波は現在もなお、引きずっています。前市長の辞職発表は、市議員がきたる衆議院選挙に向けて動き始めている中での突然の出来事でした。投票率が上がるとか、選挙にかかる費用を10億円削減できるとか、理由をつけていましたが詭弁としか言いようがありません。

結 局、具体的な争点すら明確にならないまま、新しい市長が誕生しました。なぜなら辞職発表から市長選挙まで、わずか3週間。候補者はこの短期間で市長選挙への出馬を決断し、マニフェストを練り上げ、かつ市民に訴えなければいけませんでした。到底、その準備が整うはずもありません。

本 来なら、Y150をどう総括するのか、新市庁舎整備の考え方はどうか、財政規律の維持と市民生活の両立をどう図っていくか、など議論のポイントはたくさんあ

りました。実際、選挙中にたくさんの方から「どういう視点で候補者を判断したらいいか?」「伊藤さんはどの候補者を応援しているのか?」など、様々質問を頂きました。それくらい、市長選挙はほとんど情報がないまま行われた選挙だったのです。

新市長誕生、Y150閉幕

— うした非常事態の中で林新市長が誕生し、開国博Y150が閉幕しました。Y150には財政調整基金という本来手をつけてはいけない、大事なお財布から62億円もの税金を投入されており、問題であることは以前の市政レポートでお伝えした通りです。何より、そもそも自治体がハコモノ・イベントをやる時代ではないというのが私の考えです。「こどもの誕生日を祝うのに、100万円もかける家庭はいないでしょう」。お金の掛け方がそもそも問題だったのです。

案 の定、Y150が閉幕を迎えて、目標の500万人に到底及ばない124万人という結果に終わりました。Y150は入場料収入をあてにし



略歴
1977年生 32歳
2002年 早稲田大学大学院
理工学研究科修了

2002年 日経BP社入社
主に知的財産、環境、ITなどを
記者として取材

2007年 横浜市議会選挙
2008年 マニフェスト大賞
最優秀アイデア賞
受賞

無所属クラブ 副団長
資源循環・環境創造委員会
委員
大都市行財政度特別委員会
委員

★お知らせ★

事務所深夜営業

12月11日（金）

11月のスケジュールについてはホームページの「お知らせ」のコーナーに掲載していますので、そちらをご確認下さい。

第14回市政報告会

12月中旬を予定

詳しい日時、会場はまだ決まっておられません。ホームページで告知させていただきます。

た計画であったため、21億円の赤字が発生。今後、この赤字補てんをどうするかという議論は避けて通れないでしょう。

Y 150の閉幕と同時に、同イベントを所管していた副市長も突然辞職してしまいました。明日から決算審査で、Y150のことも議論しなければいけないという時に…。トップが勝手にその職を投げ出すから、こういう事態になってしまうのです。市民の皆様から日々、寄せられる怒りの声を私たち議員はどうしたらいいのでしょうか。

副 市長の辞職のタイミングについては市長にも責任があります。市長は辞表を受け取ってから20日間は保留できるので。もし、林市長が副市長の辞

表をすぐに受け取っていなければ、少なくとも決算審査でY150について深く議論できました。市長の人事権の使い方に問題があったのです。

方でY150については議会の責任もあります。予算の使い方に問題があれば、議会は拒否できるのです。議会は行政のチェック役と呼ばれる所以です。しかし、実際に議会ではY150に関する予算計上には殆ど異論が出ませんでした。与えられた権力を使わなければ、議会の、議員の意味はありません。私は予算案に反対したとはいえ、議会に議席を占める一人として同じ過ちを繰り返さないためにも議会の体質改善が必要だと痛感しています。志を同じくする仲間が欲しいものです。

前回市政レポートに対する反応 ネーミングライツの是非

前号では日産スタジアムを例にネーミングライツを取り上げたところ、20代、30代の方を中心に予想以上の反響がありました。賛否両論ありましたので、せっかくですから、そのごく一部をご紹介します。



賛成の声

私も文化施設へのネーミングライツは馴染まないと思います。日産スタジアムは名前が変わったとしても、高く契約してくれる企業を探すべきです。横浜市は財政が厳しいから、尚のことです。
(緑区在住 Oさん)

提案の声

日産スタジアムではなく、横浜国際総合競技場 powered by NISSAN のように表記してはどうか？ これなら、文化施設でもネーミングライツの導入のアレルギーはないのではないかと。
(緑区在住 Iさん)

反対の声

ネーミングライツは自治体と企業の思惑が一致した取組みだが、自治体が主体となって契約すべきで、長期契約を基本とすべきだ。これを機にハコモノ行政、自治体と企業の関係、ネーミングライツの在り方をしっかりと見直して欲しい。
(緑区在住 Sさん)